

新型コロナウイルス感染症対策に関する

千歳市 山口市長からの市民向けメッセージ

(令和2年6月1日 発言文)

皆さん、市長の山口です。

今回は、市内における新型コロナウイルス感染患者の発生状況と6月1日からの公共施設の再開等をお知らせいたします。

また、皆さんにお願いがあります。

はじめに、感染者数の推移であります。グラフで示しておりますように、これは、4月と5月の発生状況であります。4月23日には、21名の感染者が発生するなど、感染の連鎖が止まりませんでした。

その後は、5月に入りましてから、感染者数が減少し、現在はゼロの日が続いております。

一方で、5月24日に4名の患者が発生しましたが、この感染者には、5月21日に発生した患者の同居者も含まれております。

今日まで、このように多くの感染者が発生したことは、大変、厳しいことと受け止めており、市は、保健所や医師会と連携しながら、感染防止に取り組んできたところであります。

現状は、医療従事者や介護職員の皆さんの懸命な努力によって、感染者は減少しておりますが、ひとたびクラスターが発生すると、その恐ろしさ

を、今回は、まざまざと感じました。

特に、介護施設でクラスターが生じると、施設内で感染の連鎖が広まり、なかなか収束することが困難な状況が続いたところであります。

今後、第2波の生起が予想されますが、今から十分に対策を講じて、市民の皆さまと、その波が起こらないように、また、起きたとしても、その波が小さくとどまるように、そしてその間隔が広がるように、努力していきたいと思っておりますので、なにとぞ、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

次は、公共施設などについてお知らせします。

本日、6月1日から再開する公共施設や学校について、表でお示しております。屋内外のスポーツ施設やキャンプ場、図書館、小中学校や児童館などが再開します。

6月2日からは、コミュニティーセンターや北ガス文化ホールが、6月8日からは、子育て支援センターを再開する予定としております。

一方、再開後も、施設の一部においては、使用制限（利用人数や貸室に制限）がありますので、それにつきましては、各施設にお問い合わせいただくか、ホームページを参照していただきたいと思います。

次は、特別定額給付金、国の10万円給付のことですが、これについてお知らせします。

5月末現在、オンライン申請、手書き申請、郵送申請合わせて20,311件の申請を受け付けております。

そのうち、処理を完了した件数、これは、申請書の誤りなどの対応処理を終えた件数ですが、6,594件、振り込みを完了した件数は、5,157件となっており、受付に対する進捗率は25.4%の進捗となっております。

給付金は、申請を受けてから、書類の確認作業を行うため、支給までおおむね10日から2週間を要しますので、どうぞご理解いただくようお願いいたします。

次は、市民の皆さんへのお願いであります。

緊急事態宣言が解除されました。しかし、コロナウイルスがなくなったわけではありません。これからは、コロナウイルスと共生しながら私たちの日常生活や企業活動を行っていくこととなります。

そのため、北海道が提唱している、新しい生活様式「新北海道スタイル」の実践をぜひお願いいたします。

ポイントは、

- ・まず、人との間隔はできるだけ2メートル開けてください。
- ・こまめな手洗いをおねがいします。
- ・咳エチケットの徹底、特にマスクの着用をお願いします。
- ・こまめな換気をお願いします。
- ・密閉、密集、密接の「3つの密」を避ける行動をしてください。

- ・テイクアウトやデリバリー・宅配の利用も有効です。
- ・そして、買い物や会議などはオンラインを上手に活用するなど、「新しい生活スタイル」を確立していただきたいものと思っております。

どうぞ、よろしく願いいたします。

最後に、ぜひ、市民の皆さんにご協力いただきたいこととしてお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に関して、感染された方やご家族、医療関係者、また、介護施設の皆さんに対する不当な差別や偏見、いじめ、誹謗中傷、また、営業を続ける店舗や、他の地域から来た車両などに対する嫌がらせなどの行為が、全国的で多くなっております。

千歳においても、医療現場で働く方や介護職員に対し、心ない言葉や、メールでの誹謗、中傷が行われており、その方々は、本当に心が折れ、悩み、苦しんでいると聞いております。

どうか、その方々に、励ましこそすれ、不当な行動は慎んでいただきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

次回は、市の「経済対策」などについて配信をいたします。

どうもありがとうございました